

休眠預金等活用制度に基づく「SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業」内定団体

団体名	(株)イノP
所在地（活動場所）	熊本県宇城市
代表者	代表取締役 宮川将人
事業費助成限度額	23,638,500
評価関連経費限度額	1,182,000
合計	24,820,500
事業名	地域と畠を守る！農家ハンターモデルの構築
事業内容（概略）	全国各地で問題となっているイノシシ等による鳥獣被害に対し捕獲など様々な対策が講じられているが、その最終処理の困難さなどがボトルネックとなり捕獲数增加の妨げとなっている。そこでイノシシの堆肥化設備を導入し広域から処理依頼を受け入れる。また、SBを志向する若者を雇用し、本事業の推進や地域住民やSB人材がともに学ぶ場(地域創成塾)の運営を担わせることでSB人材の育成を行う。これらの取組により、イノシシ捕獲のボトルネックを解消しつつ鳥獣対策を中心としたSB創出を図り、イノシシ捕獲数の増加につなげる。
講評	野生鳥獣対策の範囲を拡大し、イノシシ堆肥化の拠点として捕獲頭数の増加を促すとともに、耕作放棄地における堆肥の活用によってイノシシ等の住み処をなくして鳥獣被害の軽減を図ることを通じて、鳥獣対策ソーシャルビジネスに取り組む人材を育成しようとする使命感や事業計画は高く評価できます。 なお、堆肥化装置にかかる大規模な設備投資を要する事業であることから、その十分な活用を進めるとともに、それによって若者のOJTや地方創生塾の運営が疎かにならぬよう留意してください。

休眠預金等活用制度に基づく「SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業」内定団体

団体名	一般社団法人 E-Y o r o n
所在地（活動場所）	鹿児島県与論町
代表者	代表理事 池田理恵
事業費助成限度額	15,538,800
評価関連経費限度額	776,900
合計	16,315,700
事業名	地域の厄介者を活用した価値創出事業
事業内容（概略）	海ごみや軽石という地域課題を稼げる資源へと転換し、地域に新たな付加価値を生み出すことを目的として、アップサイクルによる特産品の創出や島外からの視察・研修の受入れを行う。 また、耕作放棄地や空き家の利活用、青少年への環境教育の実施を通じて、地域への活力やSDGsへの貢献を図ります。
講評	軽石や海ゴミの漂着など、国内の島嶼部が抱える負の資源をアップサイクルすること、そのプロセスを環境学習の場として位置づけて関係人口の増大を図ること、それらの中から新しい人材、特産品やビジネス、ひいては経済循環を生み出そうとする挑戦は高く評価できます。 なお、審査における質疑応答にあったように、島内外における経済的な循環を構築するにあたって、島外の事業者等への依存度が高くなりすぎて、結果として経済的な成果の歩留まりが悪くなることのないよう留意してください。

休眠預金等活用制度に基づく「SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業」内定団体

団体名	一般社団法人MIT コンソーシアム申請
所在地（活動場所）	長崎県対馬市
代表者	代表理事 吉野元
事業費助成限度額	23,210,900
評価関連経費限度額	1,160,500
合計	24,371,400
事業名	自然共生型森づくりの多主体参加モデル事業
事業内容（概略）	<p>本事業では、非経済林となっている森林において持続可能な森林施業や資源活用、鳥獣対策等のソーシャルビジネスを兼業（半農半X型）で行うツシマモリビトを確保し、育成するチャレンジセンターを運営する。新たなツシマモリビト（候補）は、当該センターでマッチングした指導者からの指導により、活性炭、蜂蜜、メープルシロップ、各種木工品、エッセンシャルオイル、燻製チップ、スウェーデントーチ等の林産物やジビ工の製造、そして森林管理やエコツーリズムなどのサービスを提供するノウハウを習得し、指導者や実行団体と連携しながら、統一的にブランディング（高付加価値）化した商品を生み出し、3年後に自立する。</p> <p>本事業によって、非経済林でソーシャルビジネスを展開するツシマモリビト（特に若者）が増え、対馬での若者の定住が促進され、ソーシャルビジネスによって得られる収益が増えることで、新しい働き方（兼業）による雇用創出が生まれ、未利用資源の活用により地域経済が成長できる。また、放置され続けた非経済林の森林は、ツシマモリビトによって保全や管理、持続可能な活用が進むことで、最終受益者である対馬市民が公益的な森林生態系サービスの向上（生物多様性保全、文化・教育・癒しの場、水源涵養機能、土砂災害防止、磯焼け対策、CO2固定、各種林産物活用等）による恩恵を享受できる。</p>
講評	<p>非経済林にかかる森林資源、体験サービス、森林整備や鳥獣対策など多様な視点の下で、若い担い手候補と指導者とのマッチングを図りながらソーシャルビジネス創出の可能性を探る事業であり、離島の資源を活かした若者活躍の場を創出する取り組みとして高く評価できます。</p> <p>なお、兼業型の事業創出が目論まれていることもあり、油断をすると事業の創出にかかる覚悟が緩む可能性もあるのではないかと考えられます。アウトプットやアウトカムを見据えて確実に事業を遂行することに留意してください。また、多様な関係者が参加する事業となっていますので、コンソーシアムのマネジメントにも十分注意を払ってください。</p>

休眠預金等活用制度に基づく「SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業」内定団体

団体名	大牟田ビンテージのまち株式会社
所在地（活動場所）	福岡県大牟田市
代表者	代表取締役 富山博史
事業費助成限度額	17,754,600
評価関連経費限度額	887,700
合計	18,642,300
事業名	地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業 ～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～
事業内容（概略）	毎年、日本全国で多発する自然災害。次の社会を担う若者（20代、30代）は、より自然災害との共存をせざるを得ない状況が予想される中、自然災害発生後の早期復旧や、働く場の確保、事業継続が社会課題となっています。本事業では、自然災害が発生することを前提に、減災に意識を持った起業家を地域に育成することを目的としています。実施地域に空き店舗を活用したチャレンジセンター（セミナースペース、カフェ、レンタルキッチン機能）を設置し、BCP（事業継続力強化計画）、起業、創業、就農、6次産業化等をテーマに勉強会を実施。実際に実行団体が、令和2年7月大牟田市豪雨災害で影響のあった地元生産者や企業と連携した商品開発を行い、コロナ過での非接触型の商品流通、販路を構築し、販売することで、関係性の構築と事業の継続性を確保します。またその過程を共有し、情報発信することで、次世代の起業家発掘につなげます。自然災害発生後、2次災害につながる可能性のある空き店舗や耕作放棄地を、減災意識を持った新しい時代の起業家が地域資源として活用し拠点をつくることで防災や災害時のコミュニティ機能を果たします。事業継続性と減災対応型起業家の事業継続が可能な仕組みを地域に構築し、減災に対応した企業が地域に増えて行くことで、災害に強く、安心して暮らせる地域づくりにつなげます。
講評	自然災害への備えが声高に叫ばれる中にあっても、進捗が芳しくない地方の中小企業における防災・減災への備えを、若者・女性の起業家予備軍や既存企業に対して啓発し、具体化を促そうとする、地域社会が抱える喫緊の課題に対応する事業であることは高く評価できます。 なお、個別の事業者において具体化される防災・減災への備えが審査の過程では見えにくかったため、それらの発信に努め、この事業に直接参加しない主体における備えの改善、ひいては地域の防災・減災力の向上に努めていただきたい。また、多様な関係者が参加する事業となっていますので、関係・協力団体のマネジメントにも十分注意を払ってください。

休眠預金等活用制度に基づく「SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業」内定団体

団体名	株式会社フリップザミント
所在地（活動場所）	福岡県福岡市（熊本県菊池市）
代表者	代表取締役 久川誠太朗
事業費助成限度額	19,857,200
評価関連経費限度額	992,900
合計	20,850,100
事業名	菊池市の荒廃農地再生事業
事業内容（概略）	菊池市の中山間荒廃農地は道幅が狭く傾斜も多いため機械を入れることができず、人力で除草作業等をするため身体的な負担が大きい。その農地で生産が容易なハーブを栽培し、そのハーブを用いた高単価で販売可能な香料原料の生産を行う。ファッショングランスと自然を取り入れたライフスタイルに関心のある消費者向けに行うことで農業のイメージ新を目指す。
講評	中山間地域における荒廃農地の活用について、地形、維持管理の負担や都市部消費者のニーズ等の観点から検討し、ハーブ等の栽培、それらを原材料とするフレグランスの製造から販売に取り組むことで、地域における農業人口の減少に歯止めをかけようとする中山間村が抱える課題の克服を目指す事業として高く評価できる。 なお、原材料の栽培、加工品の製造、福岡市にアンテナショップを設けるという幅広い事業が予定されていることから、これらの具体化に注力してしまい、本事業が目指す長期的なアウトカム、つまり若者や女性の農業への関心が高まり、就農者が増えるという目標を見失わぬよう留意してください。